

産業政策

森林業の課題は？



宮内 英明 議員

答

森林経営を安定化させることが課題と考えています。

平成17年10月1日に高島郡森林組合と朽木村森林組合が合併して、高島市森林組合が発足した。また、県域では、滋賀県森林組合連合会を中心に活動されている。高島市においては、第2次高島市総合計画（案）の中で、担い手の育成を掲げ、木材生産と保全を柱とする中長期計画を作成するとともに、森林情報と境界に関する情報を集積し、森林整備を推進しやすい体制を確保し、情報集積および業種連携による林業振興を図られているが、次の点について問う。

問 現状と課題は。

答 農林水産部長

所有者の関心の希薄化などによって、資産が次の世代に継承されていないことが問題だと考えており、森林の基礎情報をしっかりと整理し、計画的な森林整備と木材生産を柱に森林経営を安定化させていくことが課題と考えています。

問 集積土場の拡張は。

答 農林水産部長

森林組合では、分散集積の可能性も含め、効率的な使用方法等について検討されているところでありま

問 木材資源活用計画の具体的な取り組みは。

答 農林水産部長

中期的な実施計画を定めるとともに、新たな木材利用を研究し、普及させるなど、市内産材の需要拡大を図っていききたいと考えています。

問 滋賀県では琵琶湖森林づくり条例等を改正し、地籍の整備や収益性の高い大木の調査、林業を成長産業化するために、伐期を迎える木材を伐採・流通・活用する仕組みづくりを本格的に開始されるが、高島市の政策は。

答 農林水産部長

県や森林組合との連携を強固にし、役割を分担しながら、既存の制度を活用して、安定した森林経営のモデルを確立していきたいと考えています。また、先にお答えした「木材利用の取り組み」を実施していきたいと考えています。

